

- 岡山県 -

「道の駅」におけるトイレリニューアル事業の紹介

1. はじめに

「道の駅」は、道路利用者のための「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」の三つの要件を併せ持つ施設として、生活に欠かせない公共施設へと発展してきた。岡山県では全ての人々が安心・安全に利用できるよう「道の駅」のユニバーサルデザイン化に取り組んでおり、本稿ではとくにトイレのリニューアル事業について紹介する。

2. 岡山県の道の駅

岡山県には道の駅が17駅あり、そのうち岡山県が道路管理者である一体型の道の駅は13駅ある。

県内に設置されている道の駅の多くは設置から20年以上が経過しており、特にトイレ施設の老朽化が顕著となっていた。近年の公共トイレは、バリアフリー対応はもちろんのこと、子供や女性に配慮した快適な空間としての整備が求められている。また、岡山県においても訪日外国人旅行者が増加しており（平成30年まで）、案内誘導の多言語化対応も求められている。しかし、県内の道の駅のトイレは、洋式化や多言語化への対応がなされておらず、外国人旅行者や高齢者等にとって利用しづらい状況であった。

3. ～おもてなし～ 「道の駅」
トイレリニューアル事業

外国人旅行者や高齢者等、誰もが安心して快適に使用できるよう、キレイで明るく使いやすいトイレに改修するため、令和元年から～おもてなし～「道の駅」トイレリニューアル事業に取り組んだ。

改修にあたっては、『「道の駅」のトイレの改善に関するチェックポイント』や「NEXCO設計要領」等を参考とし、下記の点に留意して設計を行った。

- ・照明のLED化、換気扇の設置
- ・防虫、防寒に配慮した設備整備
- ・温水洗浄便座付洋式便器への取替え
- ・停電時においても使用及び自動洗浄が可能な大便器、小便器の設置
- ・乾式清掃が可能な床材への改修
- ・手荷物を置く棚やフックの設置
- ・自動水洗（センサー式）への改修
- ・手すりの設置
- ・トイレ機能や使用方法案内の多言語表記（4カ国語表記（日・英・中・韓））
- ・ピクトサイン等を用いた、誰にでもわかりやすい表示への改修
- ・入口への手動扉の設置
- ・ベビーチェアの設置

4. おわりに

道の駅のトイレリニューアルにより、外国人旅行者や高齢者等全ての方々に快適な休憩空間を提供することができ、道の駅を拠点とした周遊観光促進や、イメージアップによる観光客のリピーター増加につながると考えている。

今後も新たな魅力を持つ地域づくりに道の駅が貢献できるよう整備を進めてまいりたい。

岡山県 土木部 道路整備課 るくみょう りょうすけ 六名 良輔

<改修前>



<改修後>



道の駅「一本松展望園」